

10のサブシステムと同期する 6,000名のアカウントを統合する認証基盤を 構築し、シングルサインオンによる Webポータルでの情報共有を実現

ソニー生命保険株式会社

www.novell.com

SUCCESS STORY

ライフプランナー制度をいち早く導入し、オーダーメイドによる合理的な保険設計/販売を手がけてきたソニー生命。同社では、ビジネスニーズの変化に対応し、10年間使用してきた統合型のグループウェアから専門性の高いアプリケーションを組み合わせたWebポータルへの切り替えを実施。Novell eDirectory、Novell Identity Manager、Novell iChainの組み合わせにより、アイデンティティ情報を統合管理する認証基盤をベースに複数のアプリケーションを1度のログインで使えるWebポータルの構築を実現した。

導入の経緯

ビジネスプロセスの多様化・複雑化に伴い グループウェアの入れ替えが必要に

ソニー生命はライフプランナー制度によるコンサルティング営業で急伸し、現在では個人保険保有契約高27兆円を超える成長を遂げてきた。同社では、各種の業務を遂行するための情報システムとして、Lotus Notesを独自カスタマイズし、10年にわたり利用してきた。

しかし、昨今のニーズの多様化や規制緩和などに対応してきた結果、Lotus Notesのデータベースが複雑化。運用管理上の工数の増大やバージョンアップに伴うクライアントの移行が必要となるなど、さまざまな問題が浮上してきた。

ソニー生命保険 業務プロセス改革本部 情報システム2部 IS企画2課 統括課長の齊藤裕美氏は、「2001年度くらいから問題が表面化してきました。このため、他のグループウェア製品を比較検討しましたが、ワンパッケージではカスタマイズされたLotus Notesと同等の機能を実現できるものが存在しませんでした。そこで、機能毎にパッケージ製品を組み合わせることで、機能毎にパッケージ製品を組み合わせて利用できるWebポータルを実現しようと考えました」と乗り換えを検討した経緯を語る。

そして、2003年7月にプロジェクトチームが作成され、同社が「uP(ユニバーサル・ウェブ・プラットフォーム)」と呼ぶ、Webポータル構築への製品選定を開始した。様々なパッケージ製品を比較検討し、ソニー生命が業務を遂行するための機能を持った各製品が決定した。



業務プロセス改革本部
情報システム2部 IS企画2課
統括課長 齊藤裕美氏

ところが、電子メール、ワークフロー管理、ドキュメント管理、電子会議、施設予約、スケジュール管理を個別のパッケージ製品で実現するにあたって、1つの大きな問題に直面した。個々のアプリケーションを利用するたびにパスワードを入力する必要があるのだ。その数は、ホストシステムを合わせれば10にも及ぶ状況となった。

選定ポイント

億単位のオブジェクトにも対応できる信頼性と ディレクトリ製品としての実績、連携の スムーズさから「Novell eDirectory」と 「Novell Identity Manager」を選択

ソニー生命では、このようなパスワード管理の煩雑さを解決するための手段として、シングル・サイン・オン(SSO)のシステム導入検討を開始した。同時に情報漏洩の危険性の低減や、ユーザビリティの向上、アカウントの即時発行や削除など管理の柔軟性も考慮して、アイデンティティをベースにユーザー管理が行えるディレクトリサービスの導入の検討も行われた。

業務プロセス改革本部 情報システム2部 IS企画2課 主任 小出政幸氏は「ディレクトリサービスは、複雑なワークフローによって、億単位のオブジェクトができあがっても安定して動くことを条件に製品を選択しました。また、『uP』のシステム構成を考えると、アカウント管理とSSOは不可分の関係なので、両方の連携という点が非常に重要なポイントでした」と語る。

このような基準から製品選定を進めた結果、億単位のオブジェクトにも対応できる拡張性と信頼性、これまでの実績、そして連携性という観点から、「Novell eDirectory」、「Novell Identity Manager」、「Novell iChain」

対象製品

Novell eDirectory
Novell Identity Manager
Novell iChain

ソニー生命保険株式会社

本社：東京都港区南青山1-1-1
新青山ビル東館5F

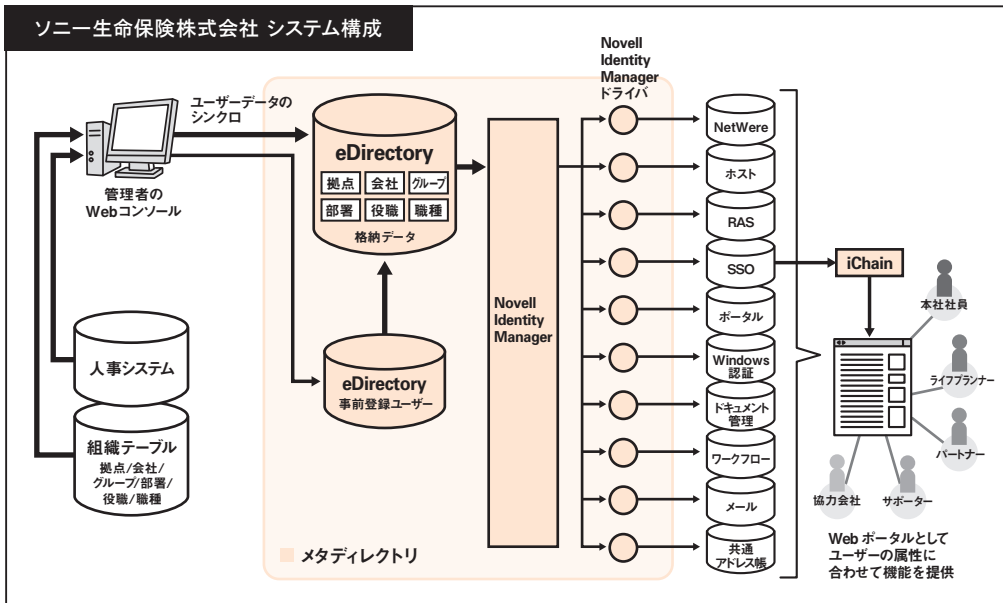
設立：1979年8月

資本金：650億円

URL：<http://www.sonylife.co.jp/>

概要：合理的な生命保険と質の高いサービスを提供することで、お客様の経済的保証と安定を図ることを基本使命に1979年に設立。ソニーフィナンシャルホールディングスグループの中核企業として、ますます発展を続けている。

Novell.



がWebサービスのSSOを実現するためのソリューションとして選定された。

導入の効果

個別運用だった6,000のアカウントを1つの認証基盤に統合し管理負荷を低減

「uP」のリリースは、当初、部署レベルで実施し、その後全体へと広げる方式で2004年7月を予定していた。だが、2005年4月からの個人情報保護法などに対応する必要が生じたため、システムとしての完成度を高めることに重点を置いて目標を2005年3月に変更。一部機能に関しては日常業務との兼ね合いから、Lotus Notesとの平行運用を経て、一定の時点で全面的に切り替えるという手法がとられた。

構築の上で難点となったのが、ホストコンピュータやWindowsのドメイン認証など、ディレクトリサービスのLDAPに未対応のサービスがあったこと、そしてサブシステムと認証基盤の同時構築を進めることであった。

小出氏は、「Lotus Notesの各機能を切り出して、全く別のパッケージ製品にサブシステムとして移行する作業と、SSOを実現するための認証基盤の構築を同時に行うと、1つのサブシステムに生じた問題が全体に波及する可能性があります。一方では、セキュリティの観点から、入社/退職/突発的な人事異動が起きた際の即時同期と、定期的な人事異動に伴う予約型のアカウント変更を反映できるシステムが必要とされていました」と、当時の悩みを語る。

そこで、LDAPで連携できない問題に関しては、Novell Identity Managerを介したXMLでの出力やCVSによる連携によってカバー。また、人事の問題はNovell eDirectoryに事前登録のユーザーオブジェクトを持



業務プロセス改革本部
情報システム2部 IS企画2課
主任 小出政幸氏

たせた上で、Novell Identity Managerのイベントを起こすタイミングを調整することで問題を解決した。

その後、認証基盤とサブシステムの整合性の徹底した検証を行い、2005年3月「uP」サイトは問題なくオープン運びとなった。Lotus Notesの置き換えとなる各システムの連携はもちろん、それまでLotus Notes/ホスト/ドメインと個別に管理されていたユーザー情報と、10のサブシステムの連携が図れるようになった。

この結果、所属/役職などの従業員の属性だけでなく、契約社員、パートナー(募集代理店)といったユーザー毎に異なる6,000ものアカウント運用管理の負荷が、大幅に低減された。

今後の展開

パートナーを含む管理アカウントの拡大とSSOで利用できるアプリの増加を目指す

現在、ソニー生命では、「uP」サイトのシステムとLotus Notesを平行稼働させながらデータの同期を行い、2006年3月の完全移行を目指している状況だ。齊藤氏は、「ユーザーからは、グループウェアの各種のアプリケーションが利用できるだけでなく、それまで別途ログオンする必要があったアプリケーションにも、Webポータルからシームレスにアクセスできる点などが好評です」と効果を語る。

今後の予定として、「従来システムではアクセス管理ができなかったため、パートナーはLotus Notesを利用していませんでした。しかし、新しい認証基盤の導入で詳細なアクセス管理が可能になったので、パートナーにも『uP』を活用してもらおうべく、開発を進めています」と小出氏が語るように、アイデンティティ管理によるメリットをフル活用していく。

このほか、Webサービスのコンポーネントを追加すれば拡張できるという利点に関しても期待を寄せており、SSOで連携するシステムを順次拡大し、業務の効率化と競争力強化の基盤として「uP」のサイトの拡大を図っていく。

ノベル・ニューズレター

電子メールによってノベル製品の最新情報やイベント情報、導入事例など、よりよい情報をどこよりも早く無料でお届けするノベルの情報サービスです。購読のお申し込みは、下記Webサイトでご案内しております。
www.novell.co.jp/nnl.htm

ノベルホームページ

ノベルの最新情報を下記URLにて提供しています。
www.novell.co.jp/

ノベルインフォメーションセンター

製品情報に関するお問い合わせ先
www.novell.co.jp/nicweb/



ノベル株式会社

〒141-8551 東京都品川区西五反田3-6-21
住友不動産西五反田ビル

※Novell, Novell Nsure Identity Manager, Novell eDirectoryは、Novell iChain, 米国Novell, Inc.の登録商標です。※その他記載された社名および製品名は、一般に各社の商標および登録商標です。Copyright©2005, Novell Japan, Ltd. All Rights Reserved.